

琉球大学学術リポジトリ

日米関係（沖縄返還）34

| | |
|-------|---|
| メタデータ | 言語: 出版者: 公開日: 2019-02-14 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属: |
| URL | http://hdl.handle.net/20.500.12000/43833 |

44
5
14
下田大使、邦人記者団

万博
カヒ
大政査外外資
務務 房
次官 監督長
長官 監督長
長官 監督長
総人電厚計
参調折
参領旅移
参北東経
参中四
参北北保
参一
参西東洋
参西
参寄近ア
参次経国万
参質統
参政技二
参国一理
参協規
参政経科
参社専
参道内外
参文

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

総番号(TA) 20536
69年5月14日21時29分 米 国 主管
69年5月15日10時50分 本 省 発着 米北1

外務大臣殿 下田(大使) 臨時代理大使 総領事 代理

本使記者会見

第1467号 略 至急

14日本使グリーン国務次官補と会見後かん例に従い邦人記者と会見し、次の通り説明しておいた。おふくみまで
1. パンディ前次官補の時と同様グリーン次官補とも国際情勢一般につきかく意ない意見交換を定期的に行なうことを希望し、かねてから面会を申し入れおいたところ、本日それが実現したもので、たまたまニクソン大統領のベトナム問題についてのテレビ演説の日と一致したまでである。

当面の問題としてベトナム及びオキナワにつき意見を交わした。大統領の演説テキストは手交されなかつた(参戦国に対しても時間的制約から渡されていないと思う)。

2. 以下質問に答えて(オフレコ)。

(1) 大統領演説には撤兵問題を含み新しい提案はもられてはいないと了解している。過去を問わず将来に向つてベトナム問題を解決していかうとの米国の方針を内外にわたつてせん明することになるのではないか。

秘

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

(2) ベトナム問題に対するニクソン政権の方針を明らかにしてほしいとの与論の要請もあり、大統領は以前から本件演説を考えていたようであり、NLIの10項目提案に対応して急に演説することになったわけではないと思われる。

(3) グリーン次官補は南越首のうとの会談、パリ会談への出席を通じてベトナム情勢について明るい見通しを持っているようだ。もつとも和平の到来は決して近いとは思っておらず、また北側は依然攻撃能力を保有しているため、軍事情勢についてもらく観はしていない。

(4) アイチ大臣の訪米を迎える米側の準備体制には全然心配はなく、実質的会談が出来るものと確信する。もつとも今日は第1回目の会談であり、結論が出る訳ではない。

(5) グリーン次官補の経験によると米上院外交委員はオキナワ問題につき非常に関心を持っているとのことである。国務省は大局的日米関係からオキナワ問題を解決したいとふ心しているが、議会、その他は極東情勢につき厳しい見方をしており、^{考れ有か}固い態度らしく、米国の国内情勢は容いではないようだ。

(了)

秘